

# なのはな

あたらしい出会いのとき・・・

NPO法人 なのはな  
◇あおぞらキンダーガーデン  
◇まほろば  
◇わとと・あおぞら  
〒420-0961 静岡市葵区北226-1  
TEL/FAX 054-246-2213  
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp  
npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp  
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

## たくさんの愛の花束を！

新しい出会いが、わくわく・どきどきするのは、大人も子どもも同じですが、大人は年をとるほど友達をつくるに時間がかかる」と言う人もいるくらいつながるのは難しいのですが、子どもは、新しい出会いを喜びに変え、つながっていく繋がり名人です。

と言っても、不安に感じれば、泣いたり怒ったりも多くなるのが子どもの姿  
そんな時の子どもが「元気になるノウハウ」はありませんが、不安になる・ぐずぐずしたくなる・泣きたくなる子どもの気持ちを分かる人がいるとそれだけで子どもが元気になる姿には、たくさん出会ってきました。

保育施設は、そうした子どもの心によりそう大人達がたくさんいるだけでなく小さいなかまもたくさんいる所ですね。

今年も新しい出会いが喜びとなり子どもがつながって笑顔の輪が広がっていける様、たくさんの愛を子ども達にそそぎ保育を進めていきたいと思っています。スタッフ一同どうぞよろしくお願ひします。(おか)

### あおぞらの保育3 ～4月の保育～

新入園児は、初めて安心できるお家から離れる緊張や不安がいっぱいです。だから「大好きなお家の人がいい」と泣く姿がたくさん見られますね。そんな時、クラス・担任を超えて大好きな大人・子どもをつくる、園が大好きな場所（好きな遊びが出来る）になる様に保育を進めます。

おうちの人は、泣いたら困ることなく「愛して育ててきたからこそそのあたりまえの姿」と考え、ぎゅっと抱きしめ「だいじょうぶ、だいじょうぶ」の愛を贈りましょう。

進級児も「大きくなることを楽しみにしていた3月までの姿」とは違い、新しい担任、新しいお友達、新しい雰囲気になれない、大きくなる憧れが強くなる等、グズグズしたり、登園を嫌がったりする姿が見られます。そこで生活リズムを大切にしながら、今までの大人と子どもの関係を崩さず新しい生活やあそびが楽しめるように保育を進めます。

お家では「もう〇〇ぐみだから」と言う言葉を大人から乱発しないよう気をつけ、新しい出会いで緊張が高まる子ども達の心を包むよう今までどおり楽しく、ほっとできるような場所で行きましょうね。

# あおぞらだより

・部屋に入ると雰囲気ガラリと変わり子ども達の絵。子ども達も少し照れながら本当にここも体も成長したことを実感させてくれる微笑ましく楽しい会でした。そして、なんと言ってもこれまで携わってきた先生方が一人ひとりに思い出を語りながら「おめでとう」の言葉を伝えていくところは、入園当初の記憶を蘇らせて様々とても感動的な場面でした。愛情たっぷり手作り100%の温かい卒園式だと感じました。

始めて参加させていただいて、たいようさんのみんながキラキラ輝いている姿にとっても感動しました。1人1人が主役で自信を持って、おとうさん、おかあさんに自分の姿を見せていて、一人ひとりがこれまであおぞらで成長した姿を現して、子どもはこんなにも、自分を大切に育った喜びを感じることが出来るんだということを知ることが出来ました。自分達で創った卒園式をやるという姿を見るのは、はじめてで、子ども達の育つ様子を知りました。

さる3月21日、あおぞらの卒園式「1年生になるよパーティー」が開かれ16期目の卒園生18人が巣立っていきました。

幼児期に獲得した力・なかまとのつながり・そこから生まれる個々の自信、そんな姿がまぶしいほど輝く卒園式でした。そこに今年度から保育スタッフになる2人の先生が参加して下さり感想をいただきました(上記)。

4月に入り小学校の入学式のあと、子ども達が何人か姿をみせてくれました。

なんだか急に大きなお兄さん、お姉さんになってしまったようにも見えました。そして又その姿をあこがれのまなざしで見ている在園生達の姿も印象的でした。

さて、4月10日。あおぞらの17回目の入園式「おともだちになろうねパーティー」が開かれます。可愛いお友達が幼児(にじ)・乳児(るんるん・ほし)になかま入りです。

今日までお家の人からたっぷり愛を注がれ育てられた子どもたち。その子育てにこれからは、あおぞらも仲間入りさせていただき、子育てのパートナーになれたらという気持ちであります。(ゆう)



## 「どうぶつサーカスはじまるよ」 さく・え 福音館

いろいろな動物がサーカスの芸をしていく物語の絵本。乳児さんは、この絵本が大好きでした。司会者はアザラシ。保育者は、司会者になりきってお話をしていくとみんなは、アハハハって顔を見合わせて「おもしろいねー」って言っています。一番のお気に入りはお客さんの中から選ばれた空中ブランコの場面。「5・4・3・2・1」カウントの後「そりゃ～おかあさん」という所です。みんなそろって元気にこのセリフ言っていました。それからというものの毎日の生活場面で「おかあさ～ん」の声がいっぱいでした。滑り台を滑る時、お友だちのファスナーを上げる時、お散歩中に保育者がアザラシの司会者になってみんなで一本橋渡りをしたり自分たちでブタくんになりきって遊ぶ姿が見られたとってもゆかいなどうぶつサーカスの絵本です。

おとうさんやお母さんとも楽しめるかも(大人が司会者になりきって読むと子どもと一緒にたのしめますよ)

(みな)

## まほろばの部屋から

### 行動⇔気持ち

最近の発達障害の研究・実践の傾向で、ちょっとした変化を感じています。

それは、こどもの行動問題に接するときのアプローチの仕方です。これまでは、“行動”に焦点をあてたアプローチが主流だったのですが、最近は、“感情や情動”（気持ち）の部分にアプローチをするということ、行動を変えるのだと、話されることが増えています。

「当たり前だろ！」と、突っ込みたくもなるのですが、「やっぱそうだよな」と、柔らかく同調することにしましょう。

行動A→■→行動A'

この■の中に何があるのか。これまでは、そこをはっきりさせるために、“気持ち”は取り除いて、行動に注目し、効率的に行動を変えようとしていたんですよ。機械じゃないんだから、■がいつも同じじゃない。そこがわからないのが、人間の面白いところ。そこに、気持ちがかからんでくるのは、当然のこと。

私たちが、ずっと大事にしてきていることが、大事だって思う人が増えているという点では、嬉しい出来事でした。

(ハル)

## わとと・あおぞら

### みんな ひとつ いっしょにあそぼ

桜の花とともに1つ大きくなった子どもたちが入園を迎える頃

わととにも新しい親子が「こんにちは～」と訪れて下さっています。

その日は、1歳を迎えたばかりの子ども。もうすぐ1歳よ！の親子が4組見えていました。初めのうちこそ、ママの傍を離れず遊んでいた子どもたちですが、ハイハイ・つかまり立ちからあんよ・・・とそれぞれの対価でしたいこと・行きたい所へ行き始めました。

そんな中、K(後10日で1歳)くんが、M(1歳10カ月)ちゃんのところへハイハイしていきました。)

Mちゃんのたっちしている足元で顔を見上げているとMちゃんがKくんの頭をそっと、なでなで。

いいこー いいこーとし始めました。Kくんは、不思議そうにでも嬉しそうにじっとしていました。

「なで・なで 可愛いねー。あそぼうね～」ときっと素直な気持ちを伝えているのでしょね。

ママやスタッフは、このほのほのしたやり取りを見て、嬉しくやさしい気持ちになりました。

のんびり・ゆったり・今を十分楽しもう！子どもの育ちをあたたかい目で見守っている。そんな素敵なママ達の姿をみるとスタッフも幸せになります。

(かよ)

NPO法人なのはなのホームページで、この“なのはな通信”が見られるようになりました。バックナンバーも載せていく予定ですので、ぜひ、ごらんください。

<http://www4.tokai.or.jp/nanohana/news/index.html>

## スタッフ移動のお知らせ

\* H 18年度 よりあおぞらのスタッフだった高山尚美さんが一身上に都合のためお辞めになりました。これからも子どもたちの顔を見に来たいと言ってくさっています。長い間、笑顔をほんとうにありがとうございました。

\* おとしまで一緒に働いていた石上佳世真さん、今年3月大学を卒業した勝山梓さんがスタッフとして仲間入りしました。どうぞよろしくお願ひします。

## 赤い羽根ありがとうございました！！

このたび、平成 21 年度の『赤い羽根共同募金』からの寄付金の交付決定のお知らせがありました。

- ・ いただいた金額 360,000 円
- ・ 使いみち 『育児不安に悩む親の相談支援事業』



わととを会場に、子育て中のお母さんたちのピアカウンセリングや、悩みが深くなってしまった方々への個別カウンセリングの事業を、新たに開始します。  
詳しい内容や予定は、決定次第お知らせします。

## わととのスタッフ会議

\* 4月22日(木曜日)13時30分～14時30分にわととで、行われます。

スタッフのみなさんお忙しい中だとは思いますがどうぞよろしくお願いします。尚3月スタッフ募集をしてくださった中にお名前のない方が数名いました。どうぞお申し出て下さい。